

## 別紙1 令和8年度 宮城県障害者相談支援従事者初任者研修 研修カリキュラム

### 【講義】

\*e-ラーニング配信期間中に各自で視聴します。

\*視聴後、科目ごとに「振り返り・評価シート」を記入します。講義（e-ラーニング）を視聴した上で、空欄なく記入してください。気づきや理解した点等の欄には、「難しかった。」や「よく理解できた。」などの感想ではなく、どんな気づきや理解があったか等を具体的に記入してください。（別紙記入例をご参考ください。）

\*e-ラーニングの講師や講師の所属等が変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

\*テキスト等改訂に伴い、講義時間等が変更になる可能性があります。

日程	時間数	科目/講師	獲得目標
6月24日 (水) ～ 7月3日 (金)	105分	<b>相談支援(障害児者支援)の目的</b> 筑波大学 小澤温先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重のための支援の意味と価値を理解する。</li> <li>・利用者理解の重要性について理解するとともに障害児者の地域での生活の実情について理解する。</li> </ul>
	240分	<b>相談支援の基本視点(障害児者支援の基本的視点)</b> 東京大学 熊谷晋一郎先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンパワメント及び本人を中心とした支援を実施するにあたり、相談援助(障害児者支援)の基本的な姿勢について理解する。</li> </ul>
	75分	<b>相談支援に必要な技術</b> 沖縄大学 島村聡先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人を中心とした支援を実施するにあたり、獲得すべき相談援助技術について理解する。</li> </ul>
	70分	<b>相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス</b> かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク理事長 岡西博一先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人を中心としたケアマネジメントのプロセスと必要な技術の全体像について理解する。</li> </ul>
	40分	<b>多職種連携とチームアプローチ</b> 名古屋市総合リハビリテーション事業団名古屋市リハビリテーションセンター 総合相談部長 小島一郎先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各相談支援事業の役割と機能を理解し、相互が連携することにより地域において効果的な相談支援体制が構築されることを理解する。</li> <li>・相談支援において地域資源を把握しネットワークを構築することの重要性について理解する。</li> <li>・(自立支援)協議会の目的、仕組み、機能について理解する。</li> </ul>
	100分	<b>相談支援における家族支援と地域支援の活用への視点</b> 長野大学 相馬大祐先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(自立支援)協議会の目的、仕組み、機能について理解する。</li> </ul>
	110分	<b>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法(以下「障害者総合支援法等」)の理念・現状とサービス提供プロセスその他関連する法律等に関する理解</b> 社会福祉法人グロー 法人事務局福祉事業部 部長 大平真太郎先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法等の目的、基本理念や障害福祉サービス等の基本的な内容を理解する。</li> <li>・障害者総合支援法等における自立支援給付等の仕組みを理解する。</li> <li>・障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律を理解する。</li> </ul>
	105分	<b>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法における相談支援(サービス提供)の基本</b> 鶴ヶ島市福祉部福祉政策課 主席主幹 藤川雄一先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス等の提供における相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者(以下サービス管理責任者等)の役割、両者の関係性を理解する。</li> <li>・サービス提供において利用者の権利擁護と虐待防止を図るために相談支援専門員とサービス管理責任者等が果たすべき役割を理解する。</li> </ul>

【演習】

日程	時間	時間数	科目	獲得目標	会場
7/4 (土)	9:00~		受付		宮城県庁 二階講堂
	9:30~9:50		オリエンテーション		
	9:50~10:10	20分	演習ガイダンス		
	10:10~12:05 (休憩10分含)	115分	関係性構築とインテークアセスメント	・受付及び初期相談(インテーク)、契約の各場面で求められる実践的な技術を修得する。 ・利用者の主訴を明確にし、本人・家族等からの情報収集とその分析を通して相談支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を修得する。	
	12:05~13:05		昼食休憩		
	13:05~16:55 (休憩20分含)	230分	関係性構築とインテークアセスメント	・アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。	
	16:55~17:00	5分	まとめ		
7/5 (日)	9:00~		受付		宮城県庁 二階講堂
	9:30~9:35		事務連絡・導入		
	9:35~12:30 (休憩10分含)	175分	アセスメントとニーズ整理票	・アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。	
	12:30~13:30		昼食休憩		
	13:30~16:40 (休憩20分含)	190分	ニーズ整理票		
	16:40~16:50	10分	まとめ		
	16:50~17:10	20分	地域実習ガイダンス		
7/6(月)~9/11(金)の期間 【地域実習①】			相談支援プロセスの実習	実際に障害当事者に対しインテーク~アセスメントを実施する。	各市町村・圏域
			地域資源に関する情報収集	所属事業所が所在する地域における地域資源に関する情報を収集する。	
9/12 (土)	9:30~		受付	・自ら実施したアセスメントについてその根拠を踏まえて分かりやすく説明できる技術を修得する。 ・他者からの多角的な意見により視点が広がり、アセスメントが深まることを理解する。	宮城県庁 二階講堂
	10:00~12:30 (休憩10分含)	150分	実践研究Ⅰ 事例の共有と相互評価Ⅰ		
	12:30~13:30		昼食休憩		
	13:30~16:40 (休憩30分含)	190分	実践研究Ⅰ 事例の共有と相互評価Ⅰ		
	16:40~17:40	60分	演習振り返り		
9/13 (日)	9:30~		受付	・本人の意向とニーズを踏まえた目標設定と目標を実現するためのサービス等利用計画等の作成技術を修得する。 ・より適切で質の高いサービスを提供するためには、サービス等利用計画と個別支援計画の連動が重要であることを理解する。 ・多職種とアセスメント結果の共有やサービス等利用計画の原案に対する専門的見地か	宮城県庁 二階講堂
	10:00~10:10		事務連絡・導入		
	10:10~12:25 (休憩10分含)	135分	ゴール設定とプランニング		
	12:25~13:25		昼食休憩		
	13:25~15:25 (休憩10分含)	120分	ゴール設定とプランニング		

				らの意見収集の意義を理解し、サービス担当者等による会議の開催に係る具体的な方法を修得する。	
	15:25~16:55 (休憩10分含)	90分	モニタリング	・ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。 ・検証の結果、支援が終結されることの意義と留意すべきことについて理解する。	
	16:55~17:20	25分	終結・評価		
	17:20~17:25	5分	まとめ		
	17:25~17:40	15分	地域実習ガイダンス		
9/14(月)~10/16(金)の期間 【地域実習②】			相談支援プロセスの実践	実践研究Ⅰでの他者の助言・自らの気づきをもとに、再度アセスメントを実施するとともにプランニングする。	各市町村・圏域
10/17 (土)	9:00~		受付		宮城県庁二階講堂
	9:30~12:15 (休憩15分含)	165分	実践研究Ⅱ事例の共有と相互評価Ⅱ	・自ら実施したサービス等利用計画の作成についてその根拠を踏まえて分かりやすく説明できる技術を修得する。	
	12:15~13:15		昼食休憩	・他者からの多角的な意見により視点が広がり、サービス等利用計画の内容が深まることを理解する。	
	13:15~14:45 (休憩15分含)	90分	実践研究Ⅱ事例の共有と相互評価Ⅱ		
	14:45~17:00 (休憩10分含)	135分	研修全体の振り返り	研修全体の振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽意欲を高める。	
	17:00~17:10		修了式		

\*タイムスケジュールは当日、変更になる可能性があります。予めご了承下さい。